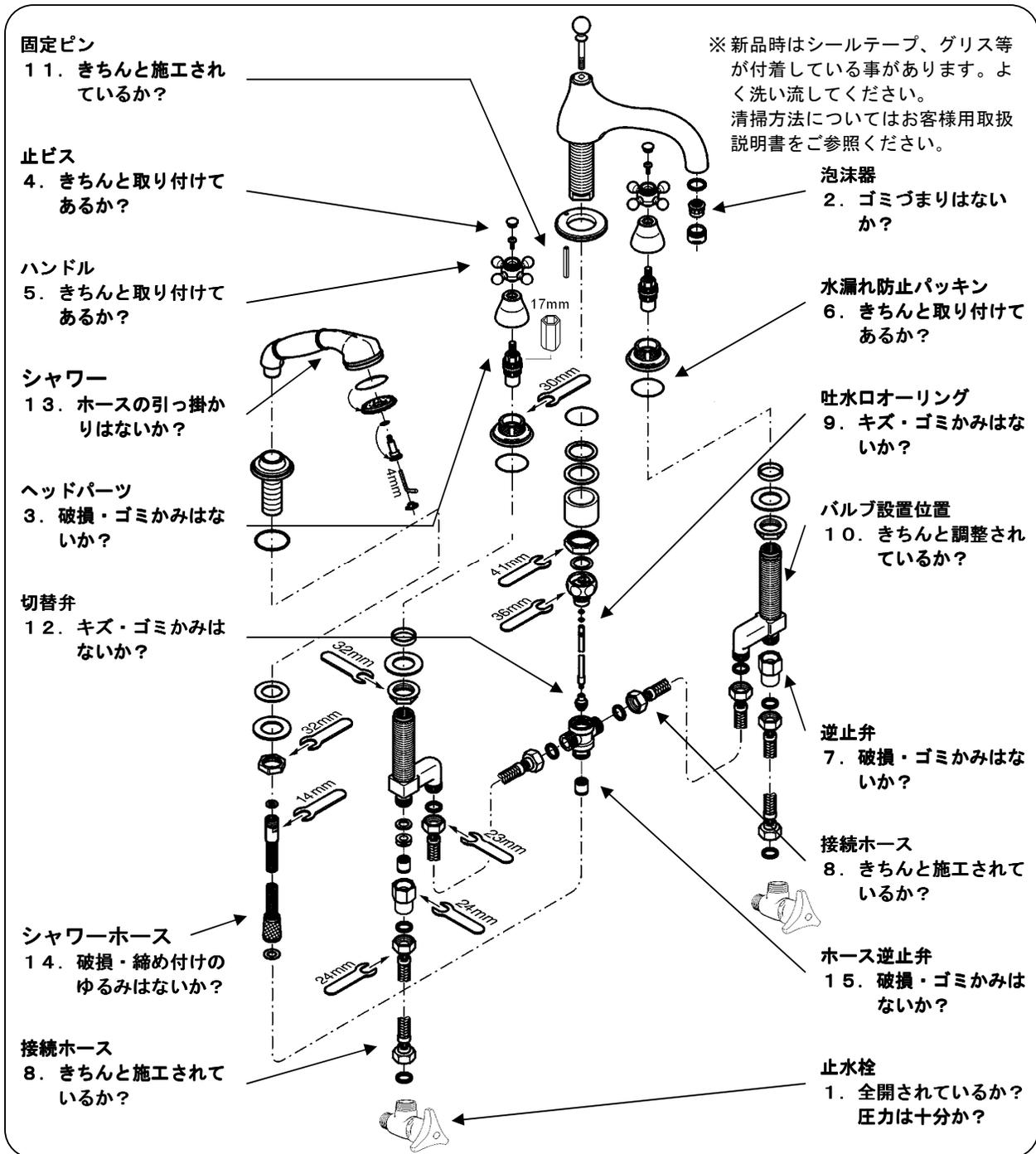


故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。



現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 7. 8
水が止まらない	3
温度不良	1. 3. 7
ハンドルがガタつく	4. 5
カウンター内より漏水する	6. 8. 14
吐水口より漏水する	9

現象	点検箇所
ハンドルがすれる、回らない	1 0
吐水口がガタつく	1 1
シャワーに切り換わらない	1. 1 2
シャワーが取り出せない	1 3
シャワーの量が少ない	1. 1 4. 1 5

グロージャパン株式会社

本 社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル
 TEL 03-3298-9683 FAX 03-3767-3811
 大阪営業所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル
 TEL 06-6533-3015 FAX 06-6533-3460

GROHEJAPAN ホームページ
<http://www.grohe.co.jp>

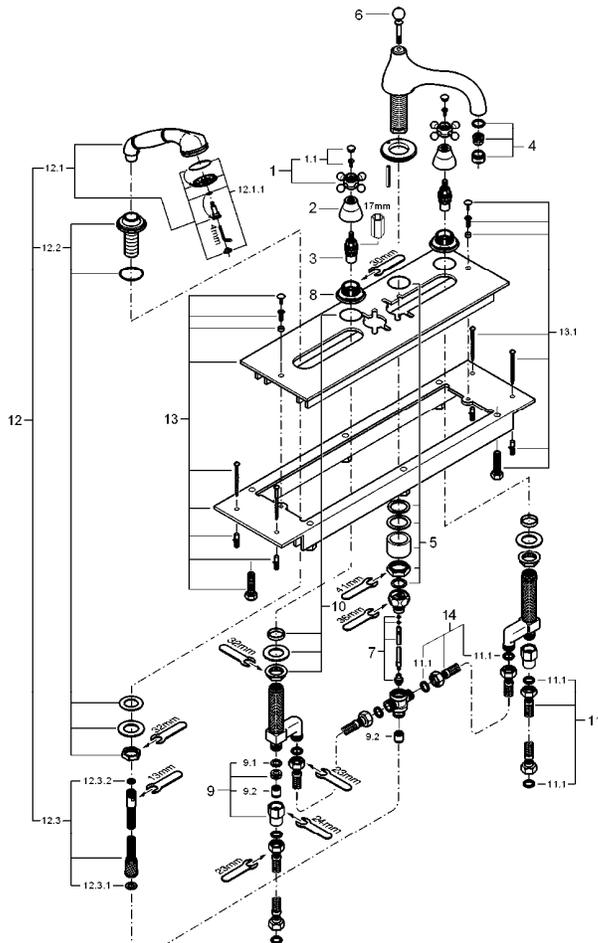
デッキバスシャワー混合栓施工説明書 (お客様にお渡しください)

機種名	一般地用品番	寒冷地用品番
シンフォニア	2503200J	
シンフォニア	2503300J	

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	ハンドルセット
1.1	スクリューセット
2	化粧スリーブ
3	セラミックヘッドパーツ
4	エアレーター
5	吐水口締付セット
6	ツマミ
7	切換弁スピンドル
8	化粧フランジ
9	逆止弁アダプター
9.1	1/2 パッキン
9.2	逆止弁φ15
10	バルブ締付セット
11	接続ホース (600 mm)
11.1	1/2 パッキン
12	シャワーセット
12.1	ハンドシャワー
12.2	ホルダーセット
12.3	ホース (G3/8xG1/2)
13	施工デッキプレート
13.1	取付ビスセット
14	接続ホース (400 mm)

※カウンター穴あけ寸法は付属のテンプレートを使用して行ってください。
カウンター厚 25 mm (45 mm) 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧(最大3:1以内)になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されています。

レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

施工前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

● 取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

● 給水・給湯ブレードホースの接続ねじは平行ねじ G1/2 です。テーパねじ (TP1/2, R1/2) には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。

取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ（図7参照）

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 止水栓と接続ホースの接続部。
- 接続ホースと逆止弁の接続部
- 逆止弁とバルブ給水・湯給口の接続部
- バルブとハンドルの接続部。
- バルブ出口と接続ホースの接続部。
- 接続ホースとチーズの接続部。
- チーズとニップルの接続部。
- ニップルと吐水口の接続部。
- チーズとホースの接続部。
- ホースとシャワーヘッドの接続部。

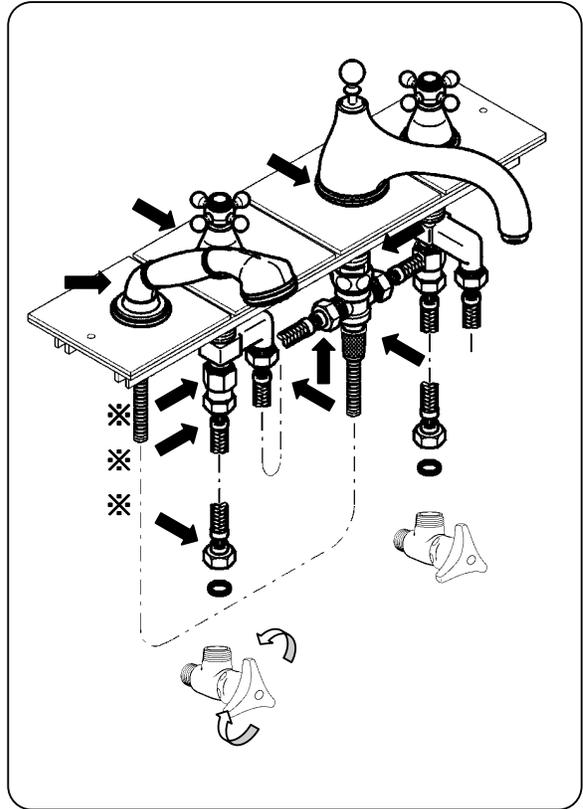
※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 水量・湯温の調節（図7参照）

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

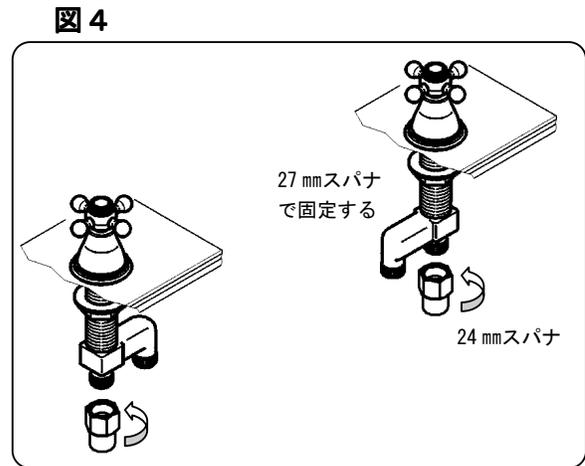
図7



施工手順（吐水口、バルブ、シャワー）

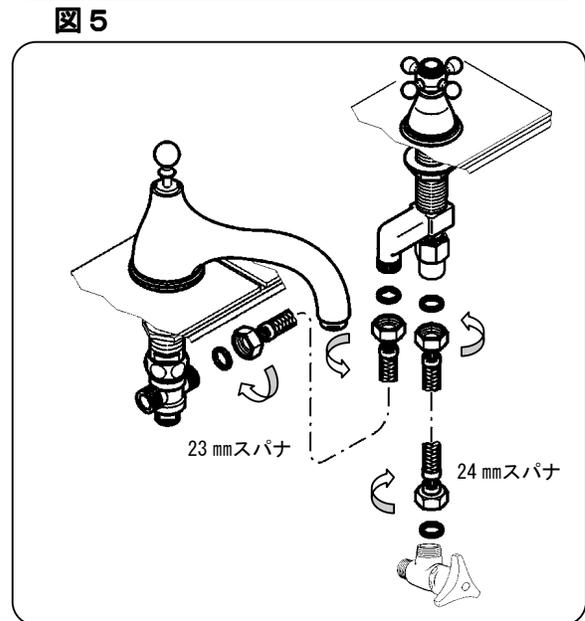
4. 逆止弁の取り付け（図4参照）

- ①同梱の逆止弁を、湯水バルブの入口側接続ネジにねじこんでください。
- ②バルブを工具（27mmスパナ）等で固定し、逆止弁を工具（24mmスパナ）等で完全にねじ込んでください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。



5. 吐水口とバルブの接続（図5参照）

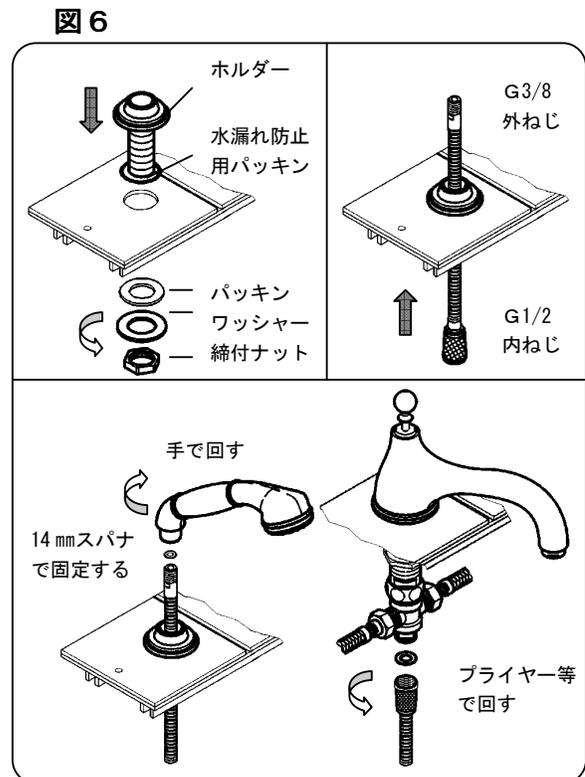
- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ②チーズ切換弁と湯水バルブの出口側に、付属の接続ホース（400mm）袋ナットを、工具（23mmスパナ）等で確実に締め付けて、接続してください。
- ③止水栓等の給水・給湯口と逆止弁に、付属の接続ホース（600mm）袋ナットを、工具（24mmスパナ）等で確実に締め付けて、接続してください。
※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。



6. ホルダー、ホース、シャワーの取り付け

（図6参照）

- ①シャワーホルダーを小箱から取り出し、パッキン、ワッシャー、締付ナットを取り外します。
- ②シャワーホルダーをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。
- ③カウンターうらからパッキン、ワッシャーを挿入し、締付ナットを工具（32mmスパナ）等で完全に締め付けてください。
- ④ホースをホルダー下部より挿入してください。
- ⑤ホースを14mmスパナで固定し、ハンドシャワーを手で完全に締め付けてください。
- ⑥吐水口下部のチーズ切換弁に、ホースを手またはプライヤー等で完全に締め付けてください。
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ホルダーを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
※ホルダーが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
※ホースがつぶれないように注意してください。

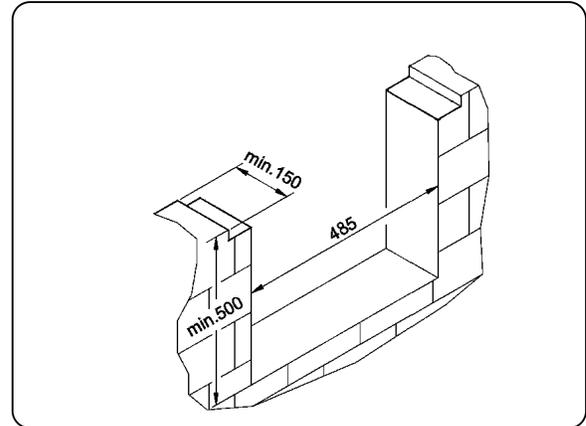


施工手順（施工デッキプレート）

1. 点検窓の設置（図1参照）

- ①設置場所に点検用のスペースを設けてください。
- ②バルブと吐水口の接続には、ブレードホースを使用しております。劣化による部品交換が必要となった場合や、接続部分の水漏れ点検等のため、必ず点検窓を設置してください。
※施工デッキプレートを使用しない場合でも、必ず別途点検窓を設置してください。

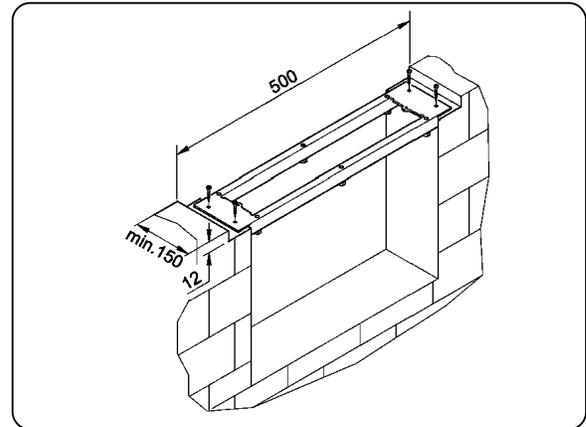
図1



2. 施工デッキプレートの取り付け（図2参照）

- ①設置場所に施工デッキプレートのスペースを設けてください。
- ②施工デッキプレートのベースに付属の六角ボルト（六本）を手で下側からねじ込んでください。
- ③設置場所に施工デッキプレートを付属の取付ビス（四本）で取り付けてください。
※取付ビスは同等品であれば、付属の取付ビス以外でも使用可能です。

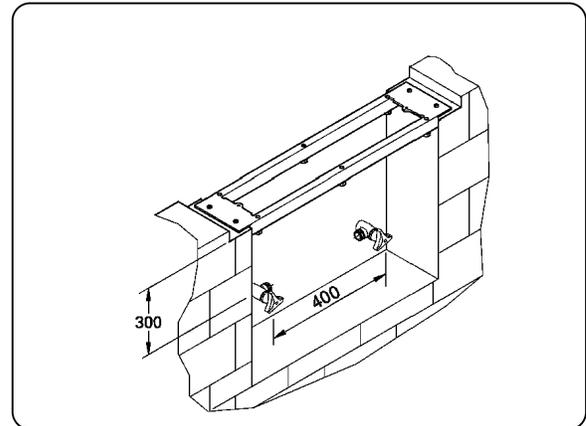
図2



3. 止水栓の取り付け（図3参照）

- ①設置場所に止水栓を設けてください。
- ②湯・水の水量調整や、接続部分の水漏れ点検等のため、止水栓の設置をおすすめします。
※止水栓の位置は規定寸法を守ってください。施工デッキプレートの上部カバーは、点検のためを引き出しますのでブレードホースに余裕をもたせてください。

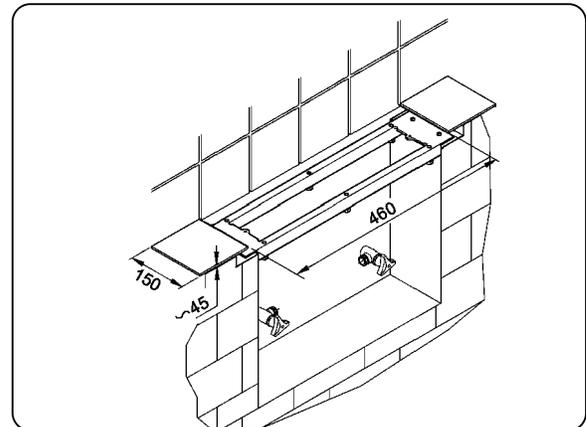
図3



4. カウンターの仕上げ（図4参照）

- ①設置場所には施工デッキプレートの上部カバー分のキリカキが必要です。
- ②施工デッキプレートの上部カバー分以外のカウンターを仕上げてください。
※カウンターの厚みは25mmまでになっております。最大の厚みを45mmにしますと、上部カバーの固定ビスが使用できません。固定の際はコーキングだけとなります。

図4

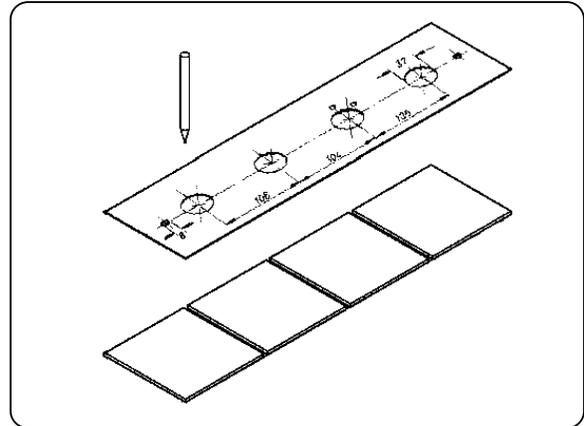


施工手順（施工デッキプレート）

5. タイル（石）の準備（図5参照）

- ①施工デッキプレートの上部カバー分のタイル（石）460 mm x 150 mmが必要です。
- ②付属のテンプレートの寸法は、バス水は栓 3-Loch と記載されている穴数、バスシャワー水栓は 4-Loch と記載されている穴数になります。
- ③タイル（石）に付属のテンプレートをあてて、エンピツ等でけがいてください。
※タイル（石）の厚みが25mm以上（45mm以下）です

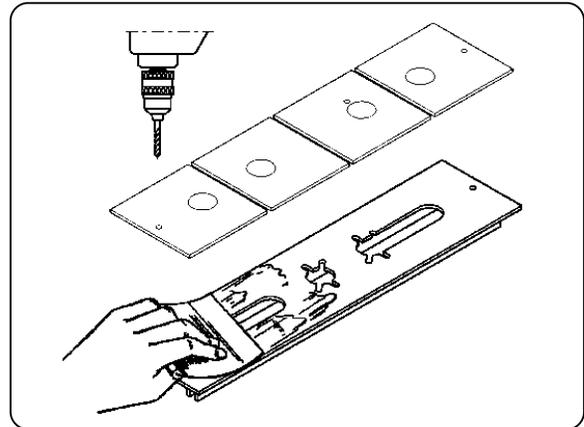
図5



6. タイル（石）の取り付け（図6参照）

- ①タイル（石）にドリル等でテンプレートのとおり穴をあけてください。
- ②施工デッキプレートの上部カバーにタイル（石）を接着材等で貼り付けてください。
※両端のφ12は上部カバー取付ビスの穴で、φ12mmで6mmのザグリφ8mmの貫通穴になります。
※中央のφ5は吐水口の固定ピンの穴で、φ5mmの貫通穴になります。

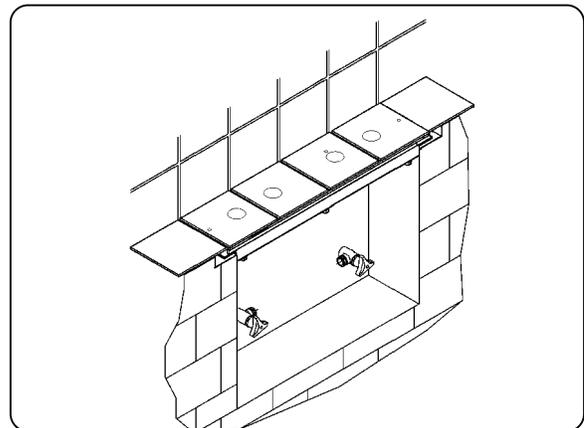
図6



7. 上部カバー水平の調整（図7参照）

- ①施工デッキプレートのベースに取り付けた六角ボルト（六本）で上部カバーの水平を調整できます。
- ②施工デッキプレートのベースに上部カバーを仮に置きます。
- ③六角ボルトを工具（17mmスパナ）等で高さを調整してください。
※高さ調整は最大5mm程度となっております。

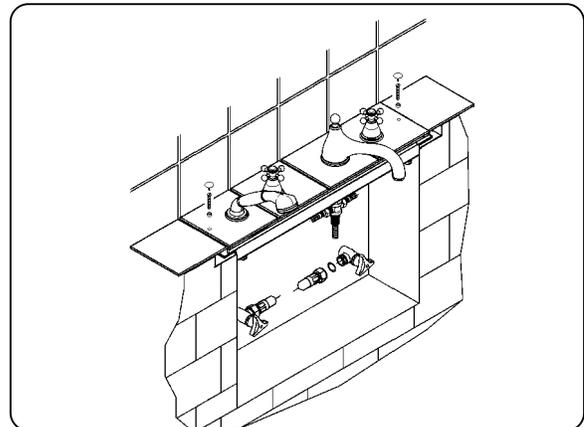
図7



8. 上部カバーの取り付け（図8参照）

- ①上部カバーに吐水口、バルブ、シャワーを取り付けてください。下記施工手順を参照してください。
- ②止水栓に湯・水の接続ホース（ブレードホース）を工具（23mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ③上部カバーの両端に取付ビスを工具（ドライバー）等でねじ込んで固定します。
- ④取付ビスにキャップを手でねじ込んでください。
- ⑤カウンター内部へ水が入りますので、カウンターの上部カバー分のキリカキにコーキング等シール材を使用してください。
※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図8

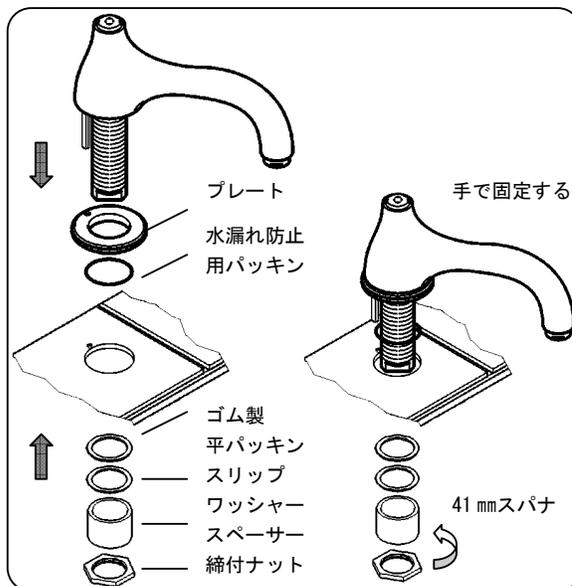


施工手順（吐水口、バルブ）

1. 吐水口の取り付け（図1参照）

- 吐水口付属部品を収納している箱から、水漏れ防止用パッキンを取り出してください。
- 吐水口の根元にプレート、水漏れ防止用パッキンを取り付けてください。
- 吐水口をカウンター上部から取り付け穴に挿入し、固定ピン用の穴に固定ピンを差し込みます。
- カウンターうらからゴム製平パッキン、スリップワッシャー、スペーサーを挿入し、締付ナットで締め付け、仮に止めておいてください。
- 吐水口を手で固定し、締付ナットを工具（41mmスパナ）等で完全にねじ込んでください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。吐水口を固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※固定ピンの穴にはコーキングをお勧めします。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、固定ピンがキチンと入っているのを確認し、締付ナットを締め直してください。

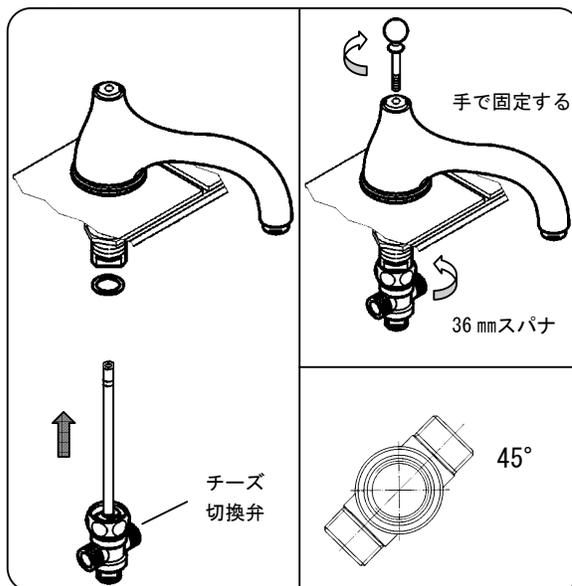
図1



2. チーズ・切換弁の取り付け（図2参照）

- チーズ切換弁の袋ナットに付属のファイバーパッキンをはめ込んでください。
- 吐水口にチーズ切換弁の切換弁スピンドルを手で差し込みます。
- 吐水口のニップル下部にチーズ切換弁が斜め45°になる位置で、仮に止めておいてください。
- 吐水口を手で固定し、袋ナットを工具（36mmスパナ）等で完全にねじ込んでください。
- 切換弁スピンドルにツマミを手でねじ込みます。
 ※チーズ切換弁が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度袋ナットを締め直してください。

図2



3. バルブの取り付け（図3参照）

- バルブに付属している化粧フランジ（上側の締付ナット）、オーリングを取り外してください。
 バルブの締付ナットを下向きに最大緩め、カウンター下部から挿入してください。
- ハンドル装着代をとり、尚且つ出口の向きが施工しやすい位置で下部の締付ナットを工具（32mmスパナ）等で締め付けてください。
- 化粧スリーブを手でカウンター上からバルブにねじ込んでください。
- ハンドルにビスを工具（ドライバー）等で右回しにねじ込んで締め付けてください。
- キャップを手もしくはプライヤーで右回しにねじ込んでください。
- マークを手でキャップに押し込んでください。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
 ※固定には別売（市販品）の垂直スパナ等を使用して確実に締め付けてください。
 ※マークは、一度取り外し「Hot」「Cold」の向きが見やすい位置に取付けてください。

図3

